浮世又平
名画譽
初編
四冊

N13
4318

浮世画師貞重合巻之初筆

浮世又平名画譽

初編四冊上巻

式亭小三馬作
五蝶亭貞重画

天保十三年壬寅孟陽新彫

松原堂發行

〈2002-2212〉

画工貞重ぬし。稗史の始筆とそ。予が拙作を其師香蝶楼主人より託せる。そもそ二十餘年前彼主人の始筆、家翁がかくせるこの又平名画の助双といへる草子あり。甚世に行れる。佳例あれば予も亦主人に旧誼あり。金捧腹の種時に馬倉卒に脱稿さまかくしたる稿本をまのあたり先年の縁義を断の上、あれも固辞ぐらく。愚案の著述ることを看官のさそを賀ひく。世界いかあり。浮世又平名画の與譽をこりが鳴く東に名だる諸先生おづいくまくる名取艸花房長き三勝岡屋が青顧強きあるりの氣性外へいやうしと面白き画組の画工が智利也。稿成り十二冊割く初集の四冊を寅の春より發行まく。行末永く時花歌川流れ絶ぜず左袒をと。鈴わるわるぬ硯をあらし。舞扇わかる華をちこう。貞重ぬしの初舞臺お紹介の口序を述。

天保十三年壬寅孟陽

式亭小三馬

不破伴左衛門繁勝

遊君遠山
名古屋山三郎春平

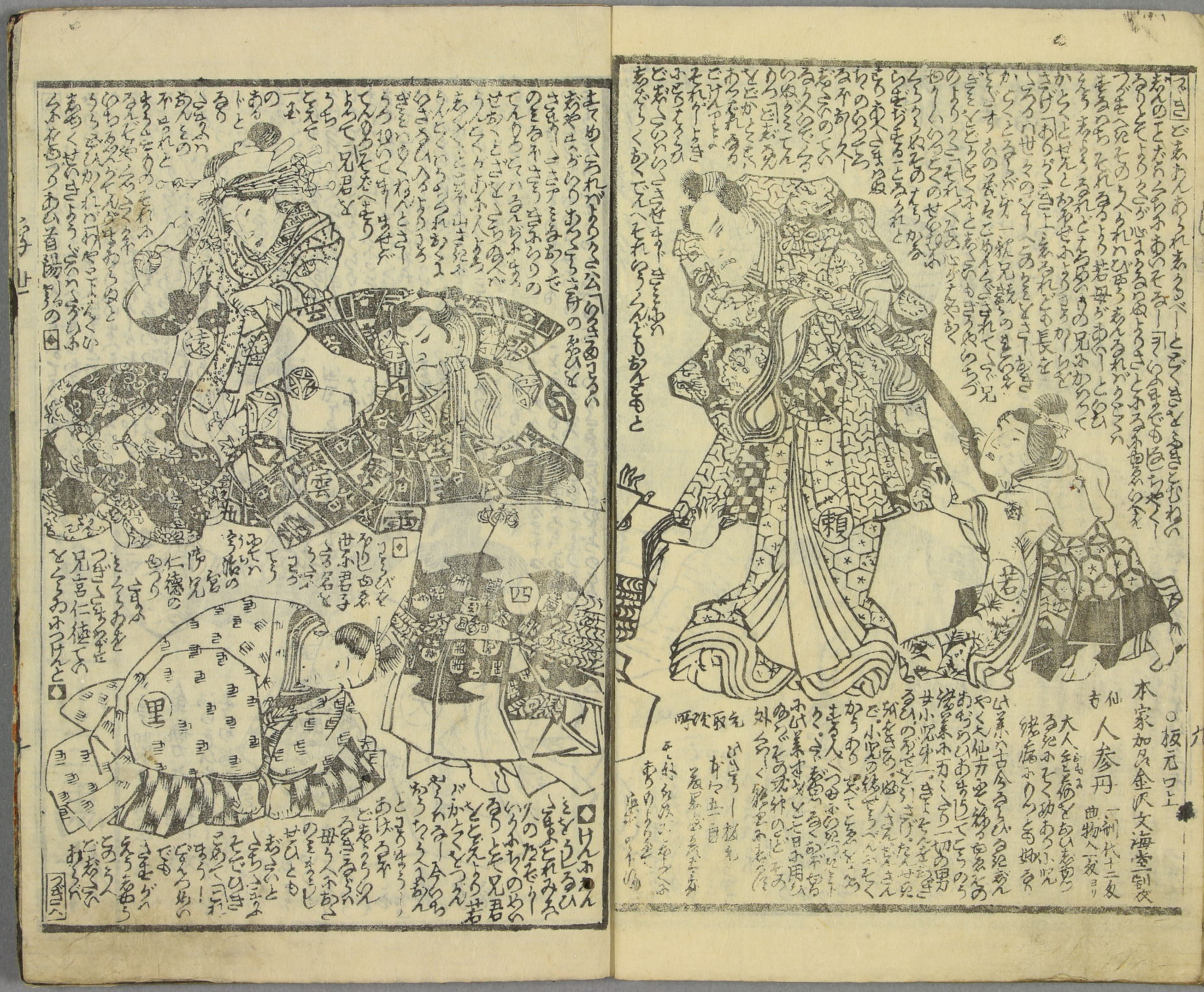
犬上轉物宗廣

這曲者の本名い後々の巻かなり
山三郎伏房
葛城

銀杏の前
あの阿野四郎次郎
あとの吉信
長谷部雲谷
大津絵の元祖
浮世又平
大津絵の
芭蕉

二
小山

杏
咲



○板元口上

本家加賀金沢文海堂製

仙人参丹

一剤代十二文

曲物入一文より

大人幼童をあいもあつ

るゑにかてくすりあつかい

緒病ふりの方も効あり

寂小便の大奇薬

一包代銭三百銅

此市茶いろ湯と華久麦麻麻そも大人小児男女
ぬぐ法下包て湯ゆる奇とやいろん妙とやいろん老少
独人をとに男るホ一人も治せといふものホ一人
のもくめホ海を世よむろめ海内の男女孫小俵まそ
しむものとをもて世中れ廣茶といちひおしやいろり
なくお晩食方取鮫のむとを生せ刃ひそを麻苦を茶るる
めよべし

本家調合所

書物屋 北林堂 西宮弥兵衛

江戸中橋廣小路町

手小三馬作
五蝶亭貞重画
天保十亥歳
藤彦版
下

浮世又平名画鑑

初編冊下之巻

式亭小三馬作
五蝶亭貞重画

天保壬寅新版
江戸本郷五丁目
藤岡屋彦太郎上梓

伊
四

山
四

犬
山

里
雲

山

ひらむさる

○製茶所抜群
仙傳 人参 即功油
代五十文 廿四文
右三種 三馬製

将
徳
妻
又

京摩子振袖日記　初編六冊　山東京山戯作　歌川國貞画圖

三世相馬奇縁結赤縄　初編四冊　式亭小三馬作　歌川國貞画

笑門松和合壽　全四冊　松亭壽山作　歌川貞秀画

歸雁故郷の花園　全四冊　猛齋芳虎画

百面相仕方噺　二編四冊　上橋亭龍馬作　一勇齋國芳画

女舞千代の壽　全四冊　七曲舎倭全作　猛齋芳虎画

忠孝譽之碑　全四冊　松亭壽山作　一猛齋芳虎画

万福長者寶藏入　全四冊　台西堂主人作　一勇齋國芳画

惠方冨士初夢草紙　全六冊　實田千川作　五雲亭貞秀画

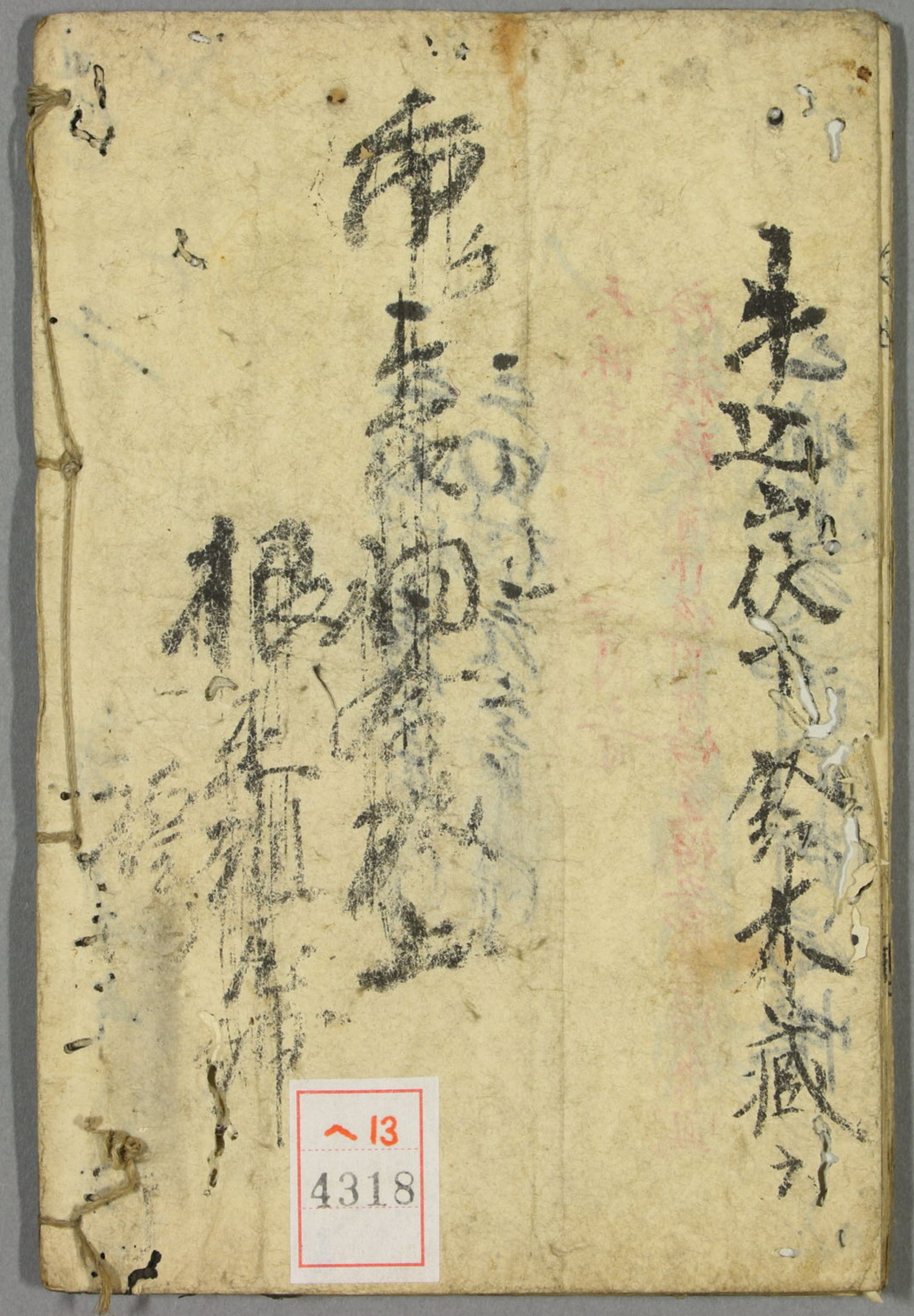
浮世又平名画譽　全四冊　式亭小三馬作　五蝶亭長重画

牡丹園女荘子　前編　後編　柳亭種彦作　香蝶楼國貞画

四八　参州　仙女香地本錦繪問屋　本郷　藤岡屋彦太郎　板

小三馬作
貞重画

別製　代五十文　三十二文



へ13
4318